

**第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第3回式典・会場専門委員会 議事録（概要）**

1 日時

令和4年(2022年)3月17日(木) 10:30～11:30

2 場所

日本生命大津ビル4階会議室

3 出欠状況（五十音順、敬称略）

委員19名中13名出席（2名代理出席）

出席：浅見 孝円、有馬 敦子（横井 正弘委員の代理出席）、稲葉 芳子、小川 亮、片山 彰一、
武田 英明、豊田 則成、中島 誠一、伏見 強、村田 耕一、目片 佳子、米田 正博、
渡邊 裕子（松宮 智之委員の代理出席）

欠席：梅本 剛雄、大橋 奈希左、加藤 三男、小出 進、佐々 康浩、田中 満
（事務局：岡田事務局長、他事務局職員10名）

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会
専門委員会設置規定改正（案）」について説明。

→原案どおり承認。

【質疑・意見】

なし

審議事項（2）

※事務局から「国スポ総合開会式の方向性（案）」について説明。

→原案どおり承認。

【質疑・意見】

<委員>

中学2年生の時に前回の「びわこ国体」の集団演技に出演した。当時は、授業の多くをつぶして練習していたが、今の学校現場で同じような対応は不可能だと思う。また、このようなコロナ禍の中では、2万人という人数を集めることは、人が交錯するという状況が生まれ、不可能。これを機に簡素化の視点で見直していくという案に賛成である。

児童、生徒に参加いただくとなると学校現場に負担をかけることにもなる。どのような形で子どもたちに参加してもらうか等は、すでに検討を始められていると思うが、そこも含めて、人に「やさしい」という視点で見直していくという案はとても良いと思う。この案の方向で進めていただきたい。

報告事項（１）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 式典基本計画策定に向けた準備について」説明。

【質疑・意見】

<委員>

資料 5 Pにある「シガリズム」について、具体的にはどのあたりを式典に取り込もうとお考えか。

<事務局>

「シガリズム」とは、本県が、琵琶湖をはじめとした自然と歩みを揃え、ゆっくり、丁寧に暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体験できる「心のリズム」を整える新たなツーリズムの総称として打ち出しているもの。「人のつながり」は「シガリズム」がめざす姿の一つだと考える。式典は、多くの人が集まる場であることをチャンスと捉え、県民と来県者とのつながり、選手と観覧者とのつながり、国スポ選手、障スポ選手とのつながりなど、人のつながりが深まるような場にすることで「シガリズム」を式典の中に取り込んでいくことができればという思いから記載している。あくまで現時点の案であるので、具体的には、今後、検討していきたい。

<委員>

スローライフというか、丁寧にゆっくりとした滋賀の暮らしぶりといったことを式典の中に取り入れていくことだと理解した。ゆったりとした中での丁寧なおもてなしは大事なことである。

<委員>

「滋賀県らしく」といった原点に着目すると、こういったコンセプトは大事になってくる。人にやさしいということや、ゆったりとした時間の流れといった心のあり方を含めて、今後コンセプトを考えていく上で大切にしていくことを、この場で改めて確認できたと思う。

報告事項（２）

※事務局から「両大会のイメージソング」について説明。

【質疑・意見】

<委員>

全体として、本日の会議における提案内容やコンセプトについては大賛成である。前回の「びわこ国体」に関わった者としては、反省点が多くある。前回の当委員会でも意見を述べたが、式典に関わる者がやりがいをもって取り組めるように進めていただきたい。

また、開・閉会式や広報、PR等の部分においては、県の著名人、例えば西川貴教さんに何かの形で関わってもらうようにもっていくと一気にうまくいくのではないかと。

<事務局>

「やりがいのある」という部分については、式典の方向性（案）でも説明したとおり、明確な県のメッセージがしっかりと浸透することが参加者の「やりがい」につながると考える。まずは、しっかりと県のメッセージ、コンセプトを固め、発信していきたい。広報の部分については、今後、検討してまいりたい。

<委員>

(Webの関係で)映像のみで音声流れなかったが、手話付きのソングなので、聞こえていない人の気持ちになって、わかりやすく見ることができた。誰もが楽しめるものができるのではないかと感じた。

<事務局>

障害のある方、子どもからお年寄りまで、あらゆる人にやさしいものをめざしていくという趣旨をご理解いただきありがたい。

<委員>

前回のびわこ国体時には、いたるところで「滋賀県民歌」が流れていた。そのことは今でも心に残っている。参加する側もやりがいがあるのは大切。先ほど、委員から提案のあった西川さんの件も実現に向け検討いただけたらと思う。イメージソングはとてもわくわくするもので、歌詞の内容も良かった。最後の「しが」というフレーズもたいへんインパクトがある。「シャイン！！」が子どもたちの心にも残って継承されることを願う。

報告事項(3)

※事務局から「三重『とこわか国体・とこわか大会』の式典の概要」について説明。

【質疑・意見】

なし

以上